

十二月七日十三時三十五分過突然地震ガ起リ家屋甚シク動揺シ
 ウイーヘルト地震計ノ東西動ノ軸針ハ折レ地震計室及事ム室ノ振り子時
 計ハ止リ（南北振子）屋外水槽ノ水ハ溢レ測風塔ト鉄筋コンクリート
 柱トニ結レルアンテナ線ハ硝子碍子破損ノ為切レ落チ塔内の風圧計
 ノ橋脚ハ一本折レ壁ニ向ツテ倒レ卓上ノ自記風信器ハズレ動キ？レク
 直チニ塔上ヨリ海岸ヲ見タルモ何等津波ノ現象ハナキモ万一ヲ慮イ市内
 へ注意ヲ与ヘル為電話ヲカケントシタルモ局カラノ応答ナシ間モナク
 国市ノ浜ニハ白波ガ見エ陸上ニ流材ヲ押シヨセタリ時に十三時五十分
 避難者ハ次々ト銀杏町ヨリ女学校方面ニ向ツテ走ルモノアリ中村山ニ上ルモノ
 モアリ又間モナク浜ニ帰ルモノアレバ津波再来ヲ注意シ甚後二十五分過
 毎々尾鷲湾内ノ防波堤ガ見エカクレシ十六時十三分終レリ
 電話ハ依然不通ニテ十四時ノ氣象電報ハ託送出来ザル為自転車ニテ運ヒタルニ
 局所近ハ五十糶浸水シ寄りツケズ遂ニ託送ハ不可能ナリキ
 地震ト同時ニ市外電話、電信、汽車モ不通トナリ夜ニ入ルモ電灯ナク充電モ出来ズ
 八日被害調査ニ出カケタル処町内ノ新町、北川付近ノ家屋倒壊流失等甚シク
 大小（マー70？）船舶五十五隻上陸シ惨惨タルモノアリ海軍将校ノ話ニヨレバ
 津波ノ最モ高キ時ハ防波堤南端ノ燈台ノ監燈部ノ下直波シタル間
 津波ノ方向ハ東ヨリ港ノ岩壁に押シヨセ来リタルモノガ直チニ陸上ニ押シヨセ家屋ヲ浮力
 上陸セル船舶ガ家屋ニブチ当リ倒壊サセ次ノ引き波ニテ流失セルモノアリ北川筋
 被害ガ大ナリシハ北川ニ二箇所ノ鉄筋コンクリートノ橋ガアリ之ニ船ヤ家屋倒壊セルモノガ
 堰トナリ津波ガ川ヲ上ラズニ川ノ西側ニ押シヨセタルモノト見ラレ水産試験場ヤ松下工場
 ガ岩壁ニアリナガラ残レルハ建物ガ浮カザリシ為ト船舶ガ押付ケザリシ為ト見ラレル
 津波襲来時刻（測風塔上ヨリ防波堤ヲ見タル状況）

- 第一回 十三時五十分
- 第二回 十四時 七分
- 第三回 十四時三十三分
- 第四回 十四時五十八分
- 第五回 十五時三十三分
- 第六回 十六時十三分

墓石ノ倒レ

古戸、矢ノ浜付近ノ不安定ナルモノハ南又ハ北ニ倒レ 安定ナルモノハ東ヨリ北ニ向コウ
 動揺？回セリ

浸水

中井浦 尾鷲郵便局付近	五十糶～七十糶
北浦 尾鷲神社前	六十八糶～百五糶
南浦海岸 漁業組合	二百五十五糶
南浦海岸 松下工場	二百九十糶
南浦海岸 水産試験場	二百八十糶
矢ノ浜人家	百三十五糶
国市ノ浜造船所	二百七十三糶

土砂崩壊

尾鷲一木本間道路崩壊六十六ヶ所 省営バス 開通セズ

地震ニヨル家屋倒壊

ナシ

地割レ

海岸ニ出来タル間ナルモ浪ノ為不明、甚他所々ニ小サキモノアルモ注意セザルハ ワカラザ
ル??

汽車不通

発震ト同時ニ線路へ土砂崩壊シ不通トナリ九日朝通ズ (八日晚相賀迄通ズ)

電灯

津波ノ為電灯公社流失送電ナク十日ノ晩ヨリ仮?灯アリ、ボルト低シ

電信

発震ト同時ニ不通トナリ八日十五時ヨリ電報ヲウク

市外電話

十日十八時迄不通

地震後ノ状況

避難者は親戚学校、寺院等へ寄宿シ町民ハ??ヨリ勤勞作業隊ヤ各隣組
ヨリ繰り出シ復興ニ従事ス

地震後潮ノ干・満ニ異変

当区内沿岸一帯ニ地震後六十糎乃至七十糎位満潮位が高ク???ニ浸水
地盤の沈下ト推定シ対策中ナリ

地震前ノ予感

井戸ノ異変甚他ナシ